

令和2年度 事業報告

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業の状況

当期におけるわが国経済は、国内外での新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府から緊急事態宣言が発出され事業者への休業や外出自粛の要請がなされたこと等により、経済活動は停滞し個人消費も大幅に落ち込むなど極めて厳しい状況となりました。

このような中、弊社におきましても、国及び県の要請に応じた対応を講じたこと及び利用者が大幅に減ったことにより、非常に厳しい経営状況となりました。

事業別状況につきましては、ホテル事業における宴会部門において、婚礼、忘新年会などの宴集会やディナーショー等の自社イベントの自粛などにより前期比約3億6千7百万円(86.0%)の減収、宿泊部門においては、出張や旅行の自粛に伴い、前期比約2億3千万円(54.0%)の減収、事業全体で前期比約8億3千9百万円(57.5%)の減収となりました。

不動産事業においては、ホテル事業等での利用者の減に伴い、駐車場利用が減少したことにより、前期比約34百万円(7.9%)の減収となりました。

施設管理事業につきましては、一部施設の指定管理期間が満了したことに伴い、前期比約1億3千9百万円(7.1%)減収するとともに、設計管理事業につきましては、鹿島開発関連事業の進展に伴い、前期比約1千2百万円(2.7%)減収となりました。

なお、土地管理事業につきましては、ほぼ前期の収益を確保することが出来ました。

このようなことから、当期の売上高は、約33億3千4百万円(前期比23.5%減)となり、実施している5事業のうち土地管理事業を除いた4事業において対前年比減収となったものの、経常利益は約8千6百万円(前期比77.9%減)、当期純利益は約8千4百万円(前期比69.2%減)確保することが出来ました。

(2) 対処すべき課題

今期におきましても、引き続き、新型コロナウイルスの影響から企業活動や個人消費の停滞により、非常に厳しい経営環境が継続するものと見込まれております。

このような状況下において、新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を期すとともに、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた事業のあり方を構築してまいります。

ホテル事業におきましても、感染防止対策をさらに強化し、お客様の安全・安心の確保に努めるとともに、業務量に応じた適切な人員配置やコスト管理の徹底により、収益の確保を図ってまいります。

不動産事業につきましては、入居活動の積極的な展開により入居率の向上を図ってまいりますとともに、施設管理事業及び設計管理事業につきましては、これまでの技術力の蓄積を活かし、技術力の向上を図りながら、発注者からの信頼性を高め、受注拡大に努めてまいります。

さらに、今期は第四次中期経営計画の2年目であることから、計画項目を適格に推進するとともに、各事業における売上目標の設定及び進行管理を徹底するなど、きめ

細やかなマネジメントによる効率的な運営体制の構築や経費の削減を図り、安定した収益の確保に全社総力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。